



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2020~2021)

- ・国際会長 価値観、エクステンション、リーダーシップ  
Jacob Kristensen (デンマーク)
- ・アジア太平洋地域会長 変化をもたらそう  
David Lua (シンガポール)
- ・西日本区理事 主題 "Let's do it now"  
副題 "2022に向け誇りを持って All is well"  
古田 裕和 (京都トゥービーワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長主題 行動に信念を、信念は行動に  
Believe in what you do. Do what you believe in.  
安行 英文 (さんだワイズメンズクラブ)
- ・西宮クラブ会長 万本 敬一  
会長主題 報・連・相 医食同源

2021年1月 西日本区強調ポイント TOF CS FF

一人一人の思いが、環境を守り、命を救います。全ての献金を忘れずに、ご協力をお願いいたします。 藤好 基子 地域奉仕・環境事業主任 (大阪なかのしまクラブ)

2021年2月

874号

《74期8号》

since 1948.5.17

スポンサークラブ  
大阪クラブ  
DBC  
近江八幡クラブ  
広島クラブ

### クラブ主役員

会 長	万本 敬一
直前会長	小野 勅紘
副会長(次)	廣瀬 一雄
副 会長	石井 恭子
書 記	濱崎 進一
書 記	山口 吉郎
会 計	小野 勅紘
会 計	重村 仁
監 事	阪根 新
監 事	山本 常雄
広報事業委員長	小野 勅紘
区LD委員	馬場 貴英
区組織検討	山口 吉郎
担当主事	藤田 良祐

2月第一例会は、中止といたします

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、2月7日までの緊急事態宣言も解除になるかどうかも分からないため、1月第二例会(22日・金曜日午後3時)で中止の判断をいたしました。2月第二例会は26日、**金曜日午後3時からの予定です。**

来月、東日本大震災から10年を迎えるので、東北へ思いを寄せる時間を持ちたいと考えていました。コロナ禍でディスカッションの時間は持てませんが、10年の活動の振り返りと、それぞれの思いやお考えを聞く例会にできればと思っておりました。例会の開催は中止となりましたが、東北への思いを寄せる時間を少しお持ちいただければと存じます。

2月ドライバー 岩田メン・石井メン

### 今月の聖句

「はっきり言っておく。私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたことは、私にしてくれたことなのである。」  
マタイによる福音書25章40節  
小野勅紘メン選

1月例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会(8金)		第2例会(22金)	
メン	0名	メン	11名
メネット	0名	メネット	0名
ゲスト	0名		
	合計 0名		合計 11名
MU	11名	合計 11名	出席率 50%

重要なお知らせ (議事録に記載) 20年度

後期のクラブ会費は徴収いたしません。

	1月	20-21年度累計
ニコニコファンド	¥ 300	¥17,300
BF@300	¥0	¥17,100
東日本震災@200	¥0	¥11,400

Happy Birthday To You

2月 お誕生日おめでとうございます

3日 小野 勅紘メン 12日 阪根 紀子メネット 21日 山本 常雄メン 23日 西山 安子メネット

## 会長メッセージ

会長：万本 敬一メン

旧暦では、立春、立夏、立秋、立冬の前日を節分と言ったが、今年では立春の前日を節分という。春の訪れがまちどおしいからかもしれない。もともと豆まきの始まりは平安時代に疫病が流行したため悪魔払いのために行ったといわれている。



年男や父親が「福は内、鬼は外」と豆をまくが、今年の鬼はまさしくコロナであるだろう。

豆をまいてもコロナにはあまり意味はないと思うが、毎年の行事である多くの寺で中止である。それでも梅が咲き始める頃になると何となく春がくる様な気分になる。コロナウイルスにならない様に太陽をあびての散歩、軽い運動などを心がけている毎日です。

## 1 月 第 2 例 会 報 告

ドライバー：阪根 新メン山本常雄メン

1月の第一例会は新型コロナウイルス拡大による緊急事態宣言下でもあり、不要不急の会合は避けるとの判断で中止とし、1月ブリテンに8名の方々に日頃お考えの事柄等ご寄稿頂き、いろいろなお話をお伺い出来て良かったとの評価を頂きました。

しかしこの時期、切手整理や次期役員決定等の重要議題がありましたので健康上の安心・安全に配慮しつつ、第二例会は時間を変更して日中に(15時から)実施致しました。12月第二例会で次期会長は廣瀬ワイズに請けて頂いていましたが、次回の六甲部EMC主査を西宮クラブが担当することになり、そのお役目を濱ワイズに請けて頂くことになりました。また、次期における副会長も濱ワイズにお願いし、快く請けて頂きました。

その他、2月第一例会も中止することとし、3月第一例会が開催可能なら、ゲストは招聘せず、浅野ワイズが『感染症の歴史』と題してお話して下さることになりました。

(リモートの可能性もあり、詳細は2月第二例会で決定/その他詳細は第二例会議事録をご参照ください)

尚、並行して行いました古切手整理作業は各人事前に作業を進めて頂いていた事もありスムーズに捗り、藤田主事に軽量して頂いた結果は、丁度 1.0kgでありましたが、昨年度の預かり分国内切手 0.9kg、外国切手 0.1kgも残っておりましてので、併せて 2.0kgと記して六甲部尾上国際・交流主査に届けて頂き一緒に送って頂く事に致しました。

廣瀬ワイズのご配慮で布引礦泉所のダイヤレモンでのどを潤しながらの有意義なひと時となりました。出席者は、万本会長、浅野、岩田、小野、重村、濱、濱崎、廣瀬、藤田、山口(吉)、山本各ワイズの計11名でした。



## 最近、「しっかり」が欠落してますから

Happy Birthday 西山 安子メネット

退職したあたりから自分の年齢があいまいになりました。昔、親が自分の年を適当に言っているのを聞いて「なんで、自分のことがわからないの」と思いましたが、全く同じ様なことになってきました。また、90歳を超えた父が78歳の時に「78歳になったとは思えない」= (自分はまだ若い)と言ったことにも頷けます。加齢による様々なことに直面し、自分がかかりしたり慰めたりの日です。

こんな中で、挑戦しているのが日本語ボランティア講座です。「地域型」を目指していますが、当たって砕ける！ 動きながら学ぶ！・・“出来るかな”・・不安でいっぱいです。

どうなることやら・・ですが、頑張ります。

地 域 で 楽 し む  
宝塚ワイズメンズクラブ 多胡葉子メン

私たちの生活は地域によってその住み心地が違ってくる。生まれ育った地域、成人してからの地域、定年後の地域と一人の人生にはいくつもの地域があり、その地域での人々との関わりがある。

私は故郷とは聞かれると生まれたところ？ 親の生家？ 思い出のある生活の場？ と考えて 返事をすることになる。生まれは中国天津。小学～高校時代は加古川、大学時代は神戸、結婚後は宝塚。と故郷と言われる地域はいくつも挙げられる。宝塚に住んでもう50年になる。私の故郷とは今や宝塚になるのでしょうか。

同じ地域に長く住むということはその地域が住みやすい地域であることが必須である。今の地域に住むようになって隣近所の付き合いは心地よいものであった。

年に2～3回は近隣の家族で集まり桜の時期には桜パーティ、冬には鍋パーティなどなど。また、子供が小さいときには近隣家庭の目が注がれ、地域に育てられたと感じてきた。

海外からのホームステイなども地域で取り組むときがあった。30年ほど前、神戸Yからシアトルからのシニアの方のホームステイを依頼されたことがあった。狭い我が家では難しかったためにお向かいのお宅と相談して二軒三脚の発想。宿泊はお向かいで、お食事は我が家で。という具合に。家族のホームステイを依頼された時も今度はお隣の家と相談し、依頼。食事などはお手伝いをし、隣近所で楽しくおもてなしをしてきた懐かしい思い出。

歳を重ねるにつれ、世代交代、相続問題などで周辺の環境も変化を余儀なくされ



地域でゴミ拾いに参加 支多々川の清掃

てきている。以前と同じような近所付き合いは最近では難しい。しかし隣近所をもう少し拡大した地域で比較的若い人たちが交流のチャンスを与えて下さるようになってきている。

私達ワイズの活動はメンバー間だけの交流でなく歳とともに地域での交流の大切さもワイズで培ってきた経験が生かされ、このコロナ禍の中で実感しながら地域の方々とも楽しんでい



る。 地域の桜の蕾という集いの一コマ。宝塚教会で

『ピンチをチャンスに～想定外はあつて

当たり前』 大野智恵メン

(神戸ポートクラブ)

人生には想定外のことがたくさんあります。次期の六甲部部長という私にとって全く予想もしていなかったお役が回ってきましたことは、その最たるものの一つです。夫がワイズの活動に積極的でしたので、近くで見ている少しお手伝いをしましよと、メネットでの活動を「できることをできるだけ」という範囲で始めました。その後、あるきっかけでメンになり、続けて会長や主査をさせていただき、そこまではまだ心の動揺は小さかったように思いますが、部長となるとそうもいきません。99パーセントないことでしたが、1パーセントが残っていました。なかなかお受けする気持ちになれず、「ワイズを辞めます！」と叫んだ時、私がスポンサーとなってポートにお誘いしたメンバーから「それなら私も辞めます！」と言われ、覚悟を決めました。自分がお誘いした方の前で、無責任なことはいえなかったからです。



ワイズの経験が浅くまた未熟な者が、どれだけのことができるのか甚だ不安ではあります。しかし、思ってもみなかった役割をいただいたことで、新たな経験を積み、対応する力をつけて自分を成長させることができるかもしれません。今後の人生にきっと役立つだろうと前向きに捉えて、これでもできるだけとしか言えませんが、精一杯努めさせていただきます。

西宮クラブの皆様、どうぞお力添えをよろしくお願いたします。

## YMCA ニュース

担当主事：藤田 良祐メン

兵庫県にも1月13日に緊急事態宣言が発令されたことにより、神戸 YMCA のウェルネスセンターでは20時までの時短営業を行っています。街中の飲食店も軒並み20時で閉店、西宮クラブ御用達の「夢庵」も20時には閉店しています。今回の緊急事態宣言では、小学校への休業要請はありませんでしたので、学童保育は通常通りに開所しています。サポートプログラムや、児童発達支援事業、ユースバスケットボールといった子どもたちを対象としたプログラムも、従来の感染症対策を講じた上で通常通り実施しています。感染症対策には留意しているものの、保護者の方でPCR検査を受検することになったり、児童が濃厚接触者に特定されたり、コロナの脅威が近づきつつあると感じています。2月7日の緊急事態宣言解除は現実的ではないとの報道も耳にしますが、子どもたちにとっての日常が少しでも守られるよう、引き続き出来る限りの対策を行っていきます。

### 1. 全国 YMCA アフタースクール研修会

1月29日・30日の2日間、全国 YMCA の学童保育担当者約70名が、Zoom上に集まり研修会を実施しました。大阪教育大学の小崎先生を講師にお迎えし、「学童保育の必要性と子どもの居場所の重要性」について講演をいただき、全国の担当者とZoom上で意見交換を

行うことで学びを深めました。保育園と同様、コロナ禍にあっても子どもの居場所を守り続けなければならない学童保育は、もはや社会インフラとして重要な役割を担っています。現在、日本のYMCAでは約50箇所の施設で学童保育を実施しており、約3,500名の子どもたちの放課後の育ちを見守っています。コロナ禍であっても、それぞれの場で、子どもたちにとって最善の利益を守りながら、家庭と地域をつなぐ働きを強めていきます。

### 2. 西宮育成センター新年度募集

YMCAが指定管理者として運営を行っている用海、浜脇、香爐園の各育成センターでは、新年度の利用申請の受付を開始しています。第1次申請は期間が終了し、現在は追加申請の受付を行っているところです。既に3センター合計で461名の申請があり、新年度も多くの子どもたちが育成センターに集う予定です。今年度は、コロナの影響により、育成センターを休所とすることを余儀なくされたり、感染症対策のため多くの行事を中止や変更したりと、コロナの対応に迫られました。次年度以降も感染症の脅威は続く可能性はありますが、一人ひとりの子どもたちと、その家庭に寄り添う保育が行うことができるよう、準備を進めています。



### 3. 今後の予定

#### (1) 第12回コミュニカ学院・神戸 YMCA 日本語スピーチコンテスト

西宮クラブの皆様には、今年もコンテストの趣旨にご賛同いただき、ご支援いただきましたこと心より感謝申し上げます。今年はコロナの影響を鑑み、オンラインでコンテストを開催いたします。オンライン配信の視聴をご希望される方は、藤田までお知らせください。

日時：2021年3月3日（水）9:00～13:00

形式: Zoom によるオンライン配信 (Zoom を視聴できる環境が必要です)

## (2) ピンクシャツデー2021

今年のピンクシャツデーは2月24日(水)です。これに先立ち、全国のYMCAでは、イ



ジメをなくすための様々な取り組みを行っています。日本YMCA同盟のHP上でポータルサイトを開設し、全国YMCAの取り組みを紹介していますので、よろしければご覧ください。(QRコードを読み込んでいただければポータルサイトへ接続できます。)神戸YMCAでも、関連するセミナーを3月に実施予定です。詳細は後日、お知らせさせていただきます。

## ワイズニュース

【今後の予定】

2月12日(金) 19:00～ 第一例会 **新型コロナ感染拡大防止のため中止**

2月26日(金) 15:00～ 第二例会 西宮YMCAにて実施予定 **(時間変更しています)**

3月6日(土)・7日(日) 次期会長・主査研修会

3月12日(金) 19:00～ 第一例会 **2/26第二例会にて実施の判断を行います。**

3月19日(金) 18:30～ ワイズ六甲部各会長・総主事懇談会

3月26日(金) 19:00～ 第二例会 西宮YMCAにて実施予定

3月28日(日) 18:00～ 六甲部評議会 (Zoomにて開催予定)

### 編集後記 **ガテン委員長 廣瀬 一雄**

1月は第一例会もなく原稿が集まるのかとちよつと気にしていました。でも第二例会での集まりが絵になり山本メンに寄稿いただきましたが、いかがでしょうか。

廣瀬さん

聖句の解説縮小しました。これでいかがでしょうかと小野さんからメール。

聖句に寄せて

小野勅紘ワイズ

### 童話「靴屋のマルチン」(トルストイ作)

「靴屋のマルチン」の童話は、教会の日曜学校で、子どもたちにお話になられた方もおられるでしょう。

ある日、神様を知らない靴屋のマルチンの耳に、神様の声が聞こえてきます。「明日、私はあなたの家に行きます」と。翌日、マルチンは雪掻きをして腰を痛めた年老いた道路清掃員のステファンに温かいお茶をサービスします。次にお腹を空かせた赤ん坊を抱いた母親がやって来ます。マルチンは温かいミルクを赤ん坊に与えます。ステファンも母親も礼を言って帰っていきました。

その日は結局神様は現れませんでした。落胆しているマルチンの耳に神様の声が「私はあなたの家に行ったじゃないですか」と。訝るマルチンは「神様はおいではなりません」と答えた。神様は「腰を痛めたステファンに温かいお茶を差し上げたり、お腹を空かせた赤ん坊にミルクをあげたでしょ。あれは実は私なのです」と。神様は姿を変えてマルチンに現れたという。

神様を見た人はいない。神様は実は最も弱い立場の人々に姿を変えて、私たちの前に現れているという。私たちが、最も立場の弱い人々に、温かく接する時、実は神様に出逢っているのだということです。

YMCA やワイズのボランティア活動の源流は、こういう信念に支えられ実施されているのです。(余島キャンプ場にも今井元総主事が神との出会いを記されている)

2月23日にお誕生日の西山メネット

宝塚クラブの多胡さん

神戸ポートクラブの大野さん

ご寄稿ありがとうございました。

右の写真は私の散歩道

関西学院のハミル館傍の

通路です。

ハミル館。関西学院に現存する

校舎の中で最古の建築物。

